

長久手市行政評価票（A票：事業評価票）

事業番号	68	—	事業名	救急業務啓発事業	担当部課	消防署 1課・2課・3課
------	----	---	-----	----------	------	--------------

基本情報	総合計画	基本方針	3	人がいきいきとつながるまち			
		分野別項目	10	住民を守る消防・救急サービスを充実する			
		施策の進め方	4	救急体制の充実・高度化			
	まちづくり 行程表	フラッグ	-				
		政策分類	-				

事業目的等	事業内容	(どのような事業なのか) AEDの使用方法を含め、応急手当の普及啓発を行う。					
	事業対象	(誰、何を対象にしているか) 市内在住者					
	事業意図	(対象をどのような状態にしたいか) 救急現場に居合わせた人が適切な応急手当を速やかに行えるようにする。					
	事業を 構成する 事務事業	① 救急業務普及啓発事業	継続	④			
		②		⑤			
		③		⑥			

コスト推移	項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
	事業費(A)	千円	決算	予算			
決算							227
人件費(B)	千円	決算					12,985
総コスト(A)+(B)	千円	決算					13,212

成果推移	成果指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	A 受講者数	人	目標	2000	2500	2500	2500	
			実績	2206	2581	2760	2838	
B								
C								
【指標の説明】(指標の設定根拠、数値目標の設定根拠など)								
A 前年度の講習実績において普及啓発の指標とした。指導員の数、資器材の数を考慮し昨年同様の受講者目標とした。								
B								
C								

環境変化	他市町での取組状況や事業を取り巻く環境変化	(他市町における同様の取組での特徴的な点、制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 他都市においても同様に応急手当の普及啓発を行なっている。当消防本部においては中学校、小学校に対しても普及啓発を行なっている。応急手当の必要性が広く市民に認知されてきて講習受講希望者も年々増加している。
------	-----------------------	--

評価	目標達成状況	(成果指標等の目標に対する達成状況や進捗状況など) 前年度の講習会実施回数117回から、今年度は128回と11回の開催増となり、併せて受講者数も増加していることから応急手当の普及がなされている。
	事務事業全体を見た課題	(構成している事務事業それぞれの評価を踏まえ、全体的な課題を整理) 講習受講希望者が増加し講習会回数が増加するに当たり、職員による講習会開催では負担が大きくなってきた。

今後の方向性	(事業の成果を高めるための事務事業の方向性) 今後も講習会を通し受講者を増加することで普及啓発を行っていく。
--------	---

長久手市行政評価票 (B票：事務事業評価票)

事業名	救急業務啓発事業									
-----	----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

番号	①	事務事業名	救急業務普及啓発事業									
----	---	-------	------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか) 長久手在住、在勤の方を対象にAEDの使用方法等の応急手当の講習を行う。
意図	(対象をどのような状態にしたいか) 応急手当を適切に行えるようにし、救命率の向上を図る。

2. コスト推移

項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
事業費	千円	予算				478
		決算				227

3. 活動推移

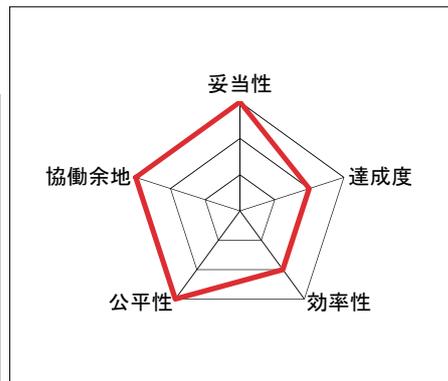
活動指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
受講者数	人	目標	2,000	2,500	2,500	2,500	
		実績	2,206	2,581	2,760	2,838	
		目標					
		実績					

4. 事務事業を取り巻く環境変化

(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 来年度はガイドラインの変更により心肺蘇生法の変更点がある。

5. 評価

項目	評価
妥当性	3
達成度	2
効率性	2
公平性	3
協働余地	3



6. 今後の方向性

継続

【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など) 今後、普及員及び指導員を養成していくことで、効率的に普及活動を行うことができる。
--